

この人に会い
ました



田平貞夫 さん
(岩原)

私たちの町に世界に誇る鉄人がいました。現在、78歳、福岡から湯沢に移り住んだ、田平貞夫さんです。走ることが大好きになり、新潟県ではNo.1。日本代表としてアジアでいや世界で大活躍しています。湯沢町も高齢化率が30%を越えました。ジョギングでもはじめてみましょうか。

が、「ヤッパリ、湯沢が良かった」と、湯沢町に帰って来ました。

湯沢町は空気が美味しい、水が美味しい、米が美味しい、お酒が美味しい、上海から来たとき、特にそう感じました。又、地形が良い、岩原の中腹までの坂道が良い。大源太川沿いのマ

イナスイオン豊富な町道のジョギング・コースが良い。そのおかげで、75歳の全日本800メートル優勝、76歳の国際大会銀1個銅2個、77歳のアジア大会金3個銀2個、78歳の世界大会で銅1個のメダルを頂きました。全て岩原の坂道と大源太川沿いロードのおかげと感謝しています。

長崎弁で言えば「湯沢は良か、良か、湯沢は良か。こんげん良か町ちゃ、えつと無かはい。」と言うことで、湯沢町の人と土地に感謝、感謝で暮らしています。

湯沢町「走ろうよ会」にも加入し、「コスモスマラソン」の前身の「岩原クロスカントリー」も走りました。3年間の湯沢暮らしも退屈になり、東京の板橋と品川で4年間生活し、暖かい所が良いかと考え、伊豆の伊東市のマンションを購入、2年間暮らしました。



追跡レポート
第1回

あの提言は
どうなっているの？

これまでの質疑の中から一部を取り上げ、その後の経過を追跡してみました。

佐藤守正議員の質問

町民参加条例を
制定すべきだ

問 町民の行政参加・協働のためには徹底した情報公開が必要だ。そのためには自治基本条例あるいは町民参加条例を制定すべきだ。

答 町民の行政参加の権利と責任を担わせる条例を、次の議会への提案を目指して準備中である。

実施結果

- 平成23年3月議会にて「湯沢町まちづくり基本条例」が成立
 - その後
 - ①「平成23年度予算の概要・今年のお金の使い道」が全戸に配布(5月)され、町も積極的に行政情報の開示をしようとする姿勢がうかがえる。
 - ②「湯沢町パブリックコメント手続き要綱」が制定された。
- これは町の基本的な計画等を立案する段階で、広く町民から意見を募集し、有益な意見を考慮して計画等の意思決定を行った後、意見に対する考え方を公表する一連の手続きです。

編集後記

「節電の夏」暑さ対策は大丈夫でしたでしょうか？
議会だよりは今回から町民の声町村議会広報研修会を経て、大改革する事になりました。違いに気が付いていただけでしたでしょうか？
まだまだ道半ばですが、「読みやすい」議会だよりを目指して、これからの改革をしてゆく予定です。

- 広報委員会 白井孝雄
- 広報委員 白井孝雄
- 委員 角谷 勉
- 副委員長 白井孝雄
- 岸野雅人・橋綾夫・関 忠夫・宮田眞理子
- 編集 湯沢町議会広報常任委員会